



いしき

学校だより第3号
鹿児島市立伊敷小学校
発行：令和5年6月28日

創立131周年

児童数 393人

学校教育目標「豊かな心を持ち、たくましく、主体的に行動する子どもの育成」

子供の「歩育」と将来の幸福のために

校長 堀之内 尚史

沖縄、奄美と梅雨が明け、いよいよ夏到来。学校では、子供たちと教職員が7月20日の終業式に向けて学力や体力づくりに頑張っています。免疫力の低下等により、季節外れのインフルエンザが流行しています。子供たちやご家族が健康な毎日を送られるように、その他の感染症も含めて裏面の感染症対策をお願いします。

さて、最近、「〇育」という言葉がいくつも作られています。その中に「歩育」という言葉があります。小学校は、歩いて登下校するもの（バス通学以外）、中学校も多くは歩いて登下校するもの（自転車・バス通学以外）でした。でも、いつの頃からか、病気やケガ等で歩くことが困難であるという理由もなく、車で送迎される保護者が増えてきました。いくら学校からお願いしても変わらず、朝、学校周辺で送ってこられた方にPTA専門部が注意している学校もあると聞いています。また、学校に子供を送ってきた保護者の車が他の子供をはねてしまったという、痛ましい事故もあるとのこと。

では、伊敷小学校はどうでしょうか？私は、毎朝正門で子供たちを迎えています。送迎する車を数台見かけます。プール側の門の周辺でも車が少なくないようです。近隣の住民の方から苦情が寄せられたり、学校周辺の時間帯通行禁止の道路を通行されたり、…。頑張っ歩いて登下校している子供たちの安全を脅かしています。

日本ウォーキング協会のHPに、『歩いた子ども達の心と体を育む“歩育”』という記事があります。「知力の活性は、気力と体力という人が持つ身体資本（心と身体）を基に蓄えられます。歩育は生きるための知恵を学び、生きるための力をつける直接体感、体験学習であると位置づけられます。その為の身体資本として、体力・気力を先ず養う場として捉えられ、従って歩育は、知力の活性として思考力、判断力、想像力、創造力等を養い、社会共生力を持ち、人間力として生かされているという概念を持っています。」と。

友だちと歩きながら、コミュニケーションをとり、安全な場所・危険な場所を見分け、自然とふれ合い、季節や天気を感じ、地域の人に見守られ、心と身体を鍛えていきます。子供の大切な成長の場をつくるために、子供の歩く速さから、何時までに家を出ればいいのか、身支度をして朝食を食べる時間を考えると、何時に起きて、そのためには何時に寝たらいいのかと逆算すると、生活リズムができてきます。

必要な力を育まないまま、中学校、高校、…、そして大人になったら、どうなるでしょうか。親子間での様々な事件を見聞きするたびに、子供の将来の幸福のために、子供のために今できることは何なのか、考える必要があるのではないのでしょうか。

**学校ブログ
更新中です！**

伊敷小ホームページでは、各種たよりや学校での様子を掲載しています。

学校だよりには、学習の様子など紙面の都合で載せることができません。HPブログをぜひ御覧ください。

6月は人権月間 児童支援の新井先生にお話を聞きました

「こども基本法」をきっかけに「子どもの権利」を考えよう

人権同和教育係 新井 浩一 教諭

「こども基本法」は、すべての子どものもつ権利が守られ、平等に幸せな生活が送れるようにと考えられた「こども施策」を推進するために令和5年4月に施行された新しい法律です。子どもの成長や子育て支援はもちろん、教育や雇用、結婚など、若者に関するとりくみを含むことが示されています。国際社会において、1989年に国連で採択された「子どもの権利条約」では、「差別の禁止」「子どもの最善の利益」「生きる権利・育つ権利」「子どもの意見の尊重」など、さまざまな権利を定めており、日本も1994年に締約国（批准）となっています。子どもや若者が将来にわたってしあわせな生活を送れる社会となるよう、また安心して子育てができるよう、わたしたち一人ひとりが意識していくことが大切です。

<こども基本法の六つの基本理念>

- 1 すべてのこどもは大切にされ、基本的な人権が守られ、差別されないこと。
- 2 すべてのこどもは、大事に育てられ生活が守られ、愛され、保護される権利が守られ、平等に教育を受けられること。
- 3 年齢や発達の程度により、自分に直接関係することに意見が言え、社会のさまざまな活動に参加できること。
- 4 すべてのこどもは年齢や発達の程度に応じて、意見が尊重され、こどもの今とこれからにとって最もよいことが優先して考えられること。
- 5 子育ては家庭を基本としながら、そのサポートが十分に行われ、家庭で育つことが難しいこどもも、家庭と同様の環境が確保されること。
- 6 家庭や子育てに夢を持ち、喜びを感じられる社会をつくること。

「ゼロカーボンチャレンジシート」について

市環境政策課では、二酸化炭素排出量を減らすための取組をまとめたシートを作成し、7月は実際に取り組んだ世帯を対象にキャンペーンが実施されるそうです。

(市ホームページ) 脱炭素型ライフスタイルに挑戦! 「ゼロカーボンチャレンジシート」
https://www.city.kagoshima.lg.jp/kankyo/kankyo/kanseisaku/zero_challenge.html



おいせ

感染症対策について



市立学校で学級閉鎖等を実施しているなど、インフルエンザの感染が拡大している状況ですが、伊敷小では、各家庭のご協力のおかげで感染症の拡大が抑えられています。学期末になりますので、引き続き感染予防に努めていきましょう。

予防する有効な方法 : 外出後の手洗い、適度な湿度、十分な休養とバランスのとれた栄養摂取、人混みを避ける など

7月

主な行事予定

8月

5日(水) 着衣水泳(高学年)
6日(木) 着衣水泳(中学年)
7日(金) 着衣水泳(低学年)
8日(土) 土曜授業
20日(木) 終業式
21日(金) 水泳記録会練習(~25日)
26日(水) 市水泳記録会(6年)
27日(木) 市水泳記録会(5年)

8/13(日)~8/15(火)学校閉庁日
市立の全ての学校が閉庁となります。

21日(月) 出校日

1日(金) 始業式
7日(木) 授業参観・学級懇談会(下学年、特学)
8日(金) 授業参観・学級懇談会(上学年)



※ 行事について変更することもあります。